



掲載にあたって(二〇〇四年度卒業論文要旨集)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2012-01-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 吉見, 孝夫 メールアドレス: 所属:
URL	https://hokkyodai.repo.nii.ac.jp/records/7231

二〇〇四年度卒業論文要旨集

掲載にあたって

国語学研究室 吉見 孝夫

学部改組に伴い、卒業論文の要旨をこのような形で掲載するのは、これが三回目である。二〇〇六年度からは、また大きな改編が待ち構えている。国語専攻という名称は消え、基礎学習開発専攻の国語グループとして新たな旅立ちを迎える。これまで国語専攻、授業基礎開発専攻、国際理解教育課程に分散していた国語科関係の教員も国語グループに結集し、更には岩見沢校教員も加わる。

時代の要請に応じ、大学が改革を進めるのは当然のことであるが、教員養成の本質が変わるわけではない。維持すべきものは守り続けていかなければならない。廃止論もささやかれるが、卒業論文という制度もまた維持されるべきものである。

今年度の卒業論文、到達度は様々であるが、各人の四年間が凝縮している。これが掛け値のないところの、現在の本学の学生の能力、我々教員の教育力のレベルである。

前号の「二〇〇三年度卒業論文要旨集」において、阿部洋、鎌田智裕両君の分が手違いで載りませんでした。ここにお詫びし、本号に掲載することといたします。